

令和4年度 イチオシ!の ICT 活用方法

教育委員会

松戸市教育委員会

1. 小学校の学習における活用方法 (学校名: 松戸市立和名ヶ谷小学校)

【活用例】

ネイティブスピーカーとリモートで会話・やりとり

【活用場面】

個人で発表の練習をする場面、個人やグループで会話の練習ややりとりをする場面

【使用する ICT 機器】

児童生徒用タブレットのビデオ会議システムアプリケーション

【活用することのメリット】

- ・一時間の中で、たくさんの相手とやりとりができる。
- ・一人当たりのやりとりの量は格段に増加
- ・リモートであるため、コミュニケーションにワンクッション
(最終的には直接コミュニケーションができることが目的)



『表現力の向上につながる』

『英語に対する自信がもてる』

『外国の方とのコミュニケーションの経験値が増える』



2. 中学校の学習における活用方法 (学校名: 松戸市立旭町中学校)

【活用例】

学級活動でのプレゼンテーション

【活用場面】

少人数グループでの課題解決型の協働学習

【使用する ICT 機器】

プレゼンテーションソフト

【活用することのメリット】

- ・個別で課題に対して考えた内容を、容易に共有できる。
- ・動画や画像、音声も入力することができ、相手に訴えかけるための方策の幅が広がる。
- ・プレゼンテーション内容を録画することで、さまざまな相手に視聴してもらうことができる。
- ・相手の選択肢が広がることで、状況に応じた伝え方を深く考えることができる。



『表現力の向上につながる』

『相手意識の向上につながる』

『グループでの協働作業により学びが深まる』

『正解のない課題に対する探求の姿勢を育む』

